

---

それでいいんだよ。

アマリネ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

それでいいんだよ。

### 【Nコード】

N2381BA

### 【作者名】

アマリネ

### 【あらすじ】

人が突然いなくなったある冬の朝。  
主人公の運命を狂わす少女と出会う。

『力』を巡る、聖界での戦闘物語。

## 1、冬の空（前書き）

初・投稿で緊張しています。

中学生が書くものなので、あまり期待しないでください。

長編物語予定。

テスト期間の2週間にはいりますと、

連載は休みになりますので

## 1、冬の空

紅に染まる 手

その手を見て笑うのは 誰？

ああ、俺……か。

\* \* \*

〓7時 自宅〓

ピリリリリ

目覚まし時計が鳴り響く。

「……ん……。」

枕元に置いてあるはず……。

手を伸ばして、目覚まし時計を探すがなかなか、手に冷たくて固い目覚まし時計と

思われるものは触れない。

ピリリリリリリ……！！！！

カチ

やっと、止められた。

布団をめくり、起き上がる。

表情などないはずの目覚まし時計が、憎たらしく感じるのは俺だけか？

カーテンを開くと、太陽の日差しがまぶしい。

……おかしいな。

いつもなら、これぐらいのタイミングで家政婦の奴がドアをノックしてくるのに。

まあ、いつか。

とりあえず、飯……。

食卓へ行くが、母さんの姿がない。

料理好きの母さんは料理だけは毎日かかさず朝・昼・晩作っている。

冷蔵庫を見ても、作りおきと見られる物は、なし。

なんだよ……。

出かけるなら、言えよ。

結局、軽く朝食をとり家を出た。

おかしい。

今日は、なんだか……おかしい。

歩き出した足をとめる。

……静かだ。

静かすぎる。

いつも聞こえる車の音も、うるさいほどの小学生の騒ぎ声も。全部、聞こえない……。

チュン、チュン

頭上で、ききなれた鳴き声。

「……スズメ。」

電線にスズメが2・3羽止まっていた。

耳をすませる。他に聞こえるのは、

風が、落ち葉をまき散らす音。

カバンにつけている鈴の音。

犬の、悲しそうな鳴き声。

おかしい。  
おかしい。

おかしい！！！！！！

人が……、人だけ居ないんだ。  
俺以外の人が……。  
そっだ……。

とりあえず学校へ。

残りの学校までの道のりを全速力で走る。  
息が、乱れてきたころ学校についた。  
吐き出した息が、白い。

！！？

いつもなら、投稿してきた生徒でいっぱい为学校が  
誰もいない。

……門すら、空いていない。

どういうことだ？

塀に背中を押し付け、そのままズルズルとすべりおちるように  
腰をおろした。

「おい、……どうなってんだよ?!」

不安な気持ちを押し殺すように、そう叫んだ。

「どっしたの？」

透き通るような、でもはっきりとした女の声がした。

冬の空を背景にアイツは立っていた。

それが、アイツと俺の出会い。

すべての始まりの合図だった。

## 1、冬の空（後書き）

誤字などありましたら、  
報告よろしくお願ひします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2381ba/>

---

それでいいんだよ。

2012年1月6日00時47分発行